

## 【小論文】

### 解答例・解答のポイント

問1 信用に基づく経済活動により、経済の規模を爆発的に巨大化させることに成功した。それが、中世までに起こらず、近世に起こった理由は、科学革命がおり、進歩に対する信頼が生まれたからである。中世までは、将来が減税より良くなることの確信が持てなかったため、信用供与は限定的であった。近世に生じた科学革命により、人々は、進歩という考え方によって将来に信頼を寄せるようになったから。

### 問2

- ① アダムスミスは、個人起業家の利益を増やすことが、全体の富の増加と反映の基本であると説いたこと、別解：富と道徳は矛盾するという中世までの考え方を否定し、利益追求は、善だと説いたこと
- ② 自分が裕福になれば、相手から何かを買うことができるから、相手も裕福になる。裕福になった相手方は、第三者から何かを買うので、第3者も裕福になり、その連鎖により、皆が豊かになるから(個人の裕福さを拡張していけるから)。
- ③ 利益が再投資されること(生産利益は生産増加のために再投資されること)
- ④ 日本では、先行き不安のために、経営者が投資を行わずに、内部留保として利益をため込むため、投資によるパイの拡大が行われなため、経済の停滞を招いている。

### 問3

- ① 自由市場資本主義では、成長が至高の善となり、目的のために手段を選ばないことが正当化される傾向がある。利益が不正な方法で得られることも公正な方法で分配されることも保証できない。
- ② 不公正な手段を抑制するための対策を講じてきた。ロースクールで学ぶ法律には、そのような観点からの法整備が行われている。独禁法、金融商品取引法、不正競争防止法、各種業種規制により不公正な取引を是正し(市場規制)、労働法により、労働者との取引(労働市場)における不正手段を是正するための法律である。民法、商行為法でも、不正取引を公序良俗違反、信頼関係理論などの法理で保護を図ってきた。刑事法においても、経済的取引におけ

る極端な不正手段(詐欺、脅し、恐喝、業務妨害など)を規制している国際的には、国際機関(国連)による不正な取引手段の監視、不正手段を規制する条約(WTOはその包括的なものである)を通じて、自由の行き過ぎを抑制しようとしている。奴隷貿易(人身売買)に関しては、憲法で規制される。

このような法律による規制が十分でないと考えると、資本主義自体の否定という考え方に向かう。しかし、資本主義を否定する場合には、上記のような信用創造のメカニズムを否定すれば、経済は著しい形で停滞する危険があること、その問題に社会主義、共産主義は答えておらず、実際に冷戦時には、資本主義を否定した経済体制の国々の経済は停滞した。また、このような経済体制の下では、経済のみならず、国民の自由・言論についても深刻な制約・弾圧が行われてきた。資本主義が持つ規模の経済のメリットによる成長・進歩は、人々の自由・民主主義をも発展させた側面は否定できず、資本主義のメリットを生かしつつ、不公正取引に対する規範の強化が正しい対応の方向性であるように思われる。

以 上